

徳島

ひょうたん島クルーズで巡る阿波踊りのまち

400年の歴史を持つ徳島の阿波踊り。8月のお盆の時期に4日間(8/12~15)は中心部一円が「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆ならおどらにゃそんそん」のお囃子で溢れかえります。そうした徳島の日常にふれるためには、中心部を周回するようにクルーズする遊覧船で巡るのがおすすめ。徳島駅近くの橋のたもとから出発する船は、美しい河岸の景色を楽しませてくれます。時には吉野川に沈む夕日を見たり、阿波踊りの練習風景に出会ったり、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか。



ひょうたん島クルーズ

★①ひょうたん島クルーズ

NPO法人新町川を守る会が、ひょうたん島一周の遊覧船を毎日無料で運行中。両国橋の橋詰の桟橋から乗船し、約30分かけてひょうたん島を巡ります。年間3万人に利用されている人気のクルーズです。毎日午後1時から40分おきに5回無料運行(7,8月は午後5時から運行)。強風や雨天の場合は欠航あり。

クルーズで水辺の風景を楽しむ…水遊都市とくしま

★新町川、助任川沿い

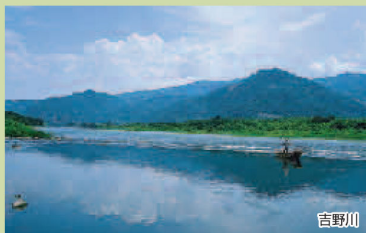
新町川、助任川沿いには、多くの公園や広場があります。整備された河川沿いのプロムナード沿いを通れば、ほとんど全ての公園や広場に辿りつくことができます。5月頃から阿波踊りの8月お盆までの期間には、夕刻から阿波踊りの練習風景が見られます。毎日午後1時から40分おきに5回無料運行(7,8月は午後5時から運行)。強風や雨天の場合は欠航します。



しんまち川沿いの様子

★②吉野川

四国一の河川、河口幅は1km以上あります。河口には干潟もあり、干潮時には歩いて渡ることができます。干潟の生物、野鳥観察の場所として、日祭日にはバードウォッチングをするスポットとしても有名です。



吉野川

スローなとくしまの魅力

★③阿波おどり会館

阿波おどり会館では、毎日踊る阿波踊りを実演。参加者も踊りの手ほどきを受けて、一緒に踊りを体験することができます。昼と夜の踊りは平日4回(昼3回、夜1回)。

■行き方:JR徳島駅から徒歩10分。

■年中無休、阿波おどりミュージアムの見学は大人800円。昼の踊りは500円。



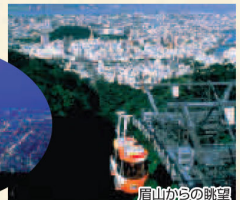
阿波おどり会館

★④眉山からの眺望

阿波おどり会館の上階のロープウェイ乗り場からは約10分で頂上につく。頂上からは、市内の他、吉野川平野、鳴門大橋、淡路島が遠望できる。天気の良いときには、紀伊水道を挟んだ和歌山の山並みが見える時がある。

■行き方:阿波おどり会館の上階にある眉山ロープウェイ山麓駅から山頂駅まで約10分。

■年中無休、ロープウェイは、大人片道600円、往復1000円。



眉山からの眺望

★⑤藍染め体験(徳島工芸村)

アスティ徳島の徳島工芸村で藍染め体験などができるお店があります。阿波藩は藍で栄えて富を築き、かつては新町川沿いに藍倉が並び、多くの藍商人が往来していたほど、藍染め体験をしたい人が多い場合には、予約をしておくとう便利です。

■徳島工芸村:電話(088)624-5000(毎週火曜は休み)

■行き方:JR徳島駅前より徳島市営バス3番乗り場山城町行、平日1日35便、所用時間約10分。文理大学前下車、徒歩約3分。



藍染め体験

徳島で食べてみたい「旨いもん」…

徳島ラーメン店	本場の徳島ラーメンが寺町の国道沿いの店で食べられます。
滝の焼き餅	寺町の眉山下に「滝の焼き餅」と言われる餅を出す場所がありました。現在は阿波おどり会館の1階店舗で食べることができます。黒餡が入った平らな餅、焼きたてを食べるのが最高。
地場の魚介類	伊勢エビ、アワビ、鯛など、徳島の近海物を扱う飲食店が新町商業地に。季節の旬を堪能することも旅の醍醐味です。



徳島ラーメン



滝の焼き餅



13番札所

17番札所

●問合せ先

■徳島総合観光案内所(徳島駅前):電話(089)622-8556
<http://www.tokushima-kannkou.or.jp/>
(徳島県観光情報提供システム)

■徳島市観光協会:電話(088)622-4010
<http://www.awadori-kaikan.jp/kankou/>

●レンタサイクル連絡先

下記の徳島駅前の総合観光案内所にお問い合わせ下さい。
徳島総合観光案内所(徳島駅前):電話(088)622-8556

●交通機関連絡先

徳島バス(株):電話(088)622-1811
徳島市交通局:電話(088)623-2156

●コインロッカー情報 徳島駅

※上記の交通機関の便数・運賃は休日・祝日のものです。(2006年2月1日現在)